第９回　御幸公園梅香（うめかおる）事業推進会議

日　時　平成２９年３月２２日（水）
　　１５：３０～１７：００
場　所　幸区役所４階第４会議室

１　開会

２　議題

（１）平成 28 年度御幸公園梅香事業梅林視察報告
（２）平成 29 年度うめかおる写真展について
（３）うめかおる寄附・募金について
（４）御幸公園梅香事業推進計画について
（５）平成 29 年度御幸公園梅香事業スケジュール（案）について

３　その他

４　閉会

資料１　第 8 回御幸公園梅香事業推進会議平成 28 年度梅林視察報告
資料２　平成 29 年度うめかおる写真展について
資料３　うめかおる寄附・募金について
資料４　平成 29 年度御幸公園梅香事業スケジュール（案）

参考資料１　御幸公園梅香事業実施要綱
参考資料２　御幸公園梅香事業推進会議設置要綱
参考資料３　「御幸公園梅香事業」推進会議　名簿
参考資料４　平成２８年度御幸公園梅香事業スケジュール
参考資料５　計画期間の主な取組（案）H27～H37
参考資料６　御幸公園梅香事業第７回推進会議摘録

資料１

第8回御幸公園梅香事業推進会議
平成28年度　梅林視察報告

羽根木公園・神代植物公園・府中市郷土の森博物館
実施日　平成29年2月22日（水）

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

１ 実施概要

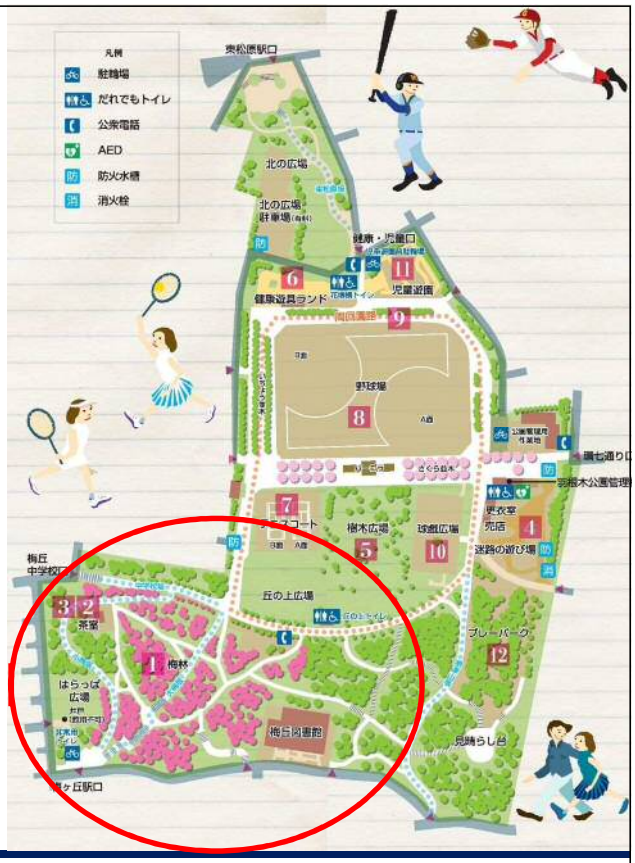
(1)実施日：平成29年2月22日（水）
(2)出席者：18名（委員8名、区役所関係課職員3名、事務局7名）
(3)実施行程：9:00　幸区役所　発
↓
10:00　羽根木公園（世田谷区）
↓
11:30　昼食（深大寺）
↓
13:00　神代植物公園（調布市）
↓
14:30　府中市郷土の森博物館
↓
17:00　幸区役所　着

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

2　実施報告

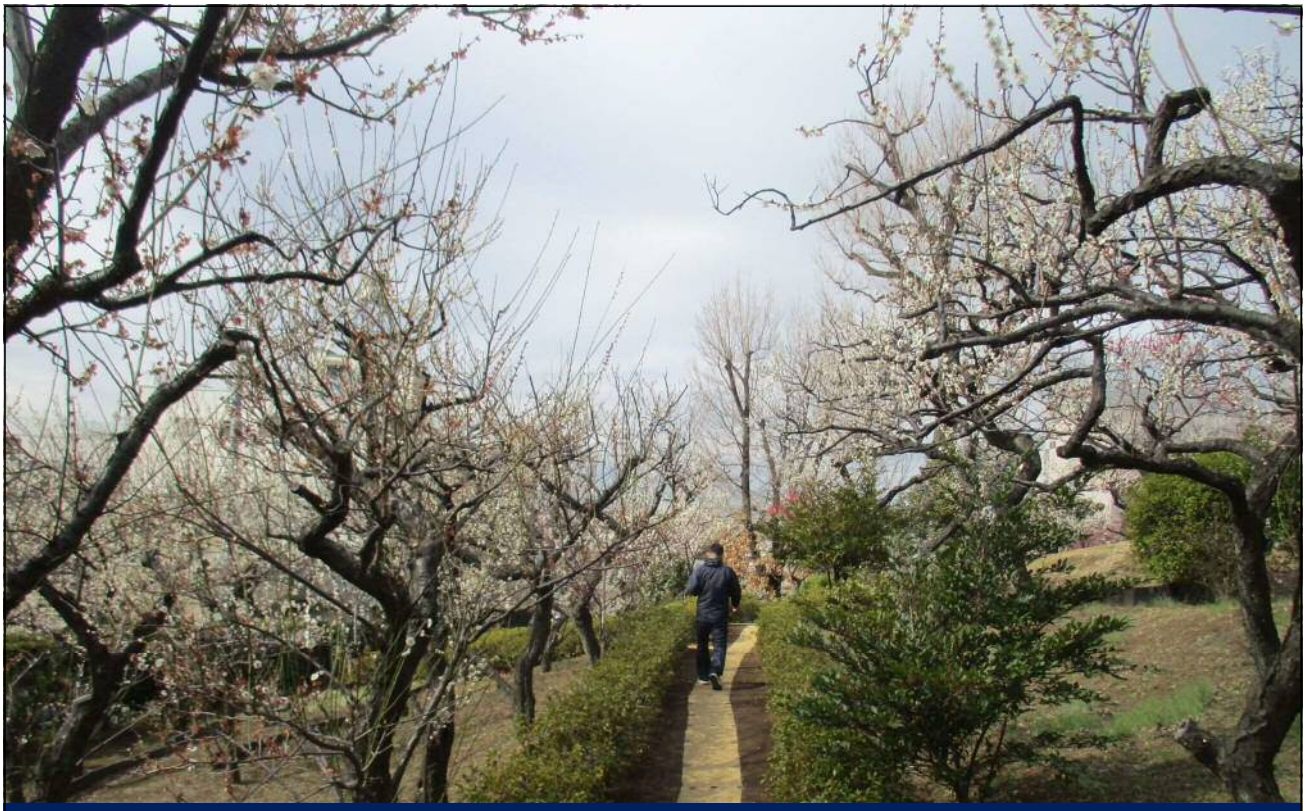
（1）羽根木公園

1)所在地　　東京都世田谷区
　　代田4-38-52
2)総面積　　約79,650m2
3)梅の本数　約650本
4)梅まつり　　2月11日（土・祝）
　　～3月5日（日）
5)視察内容　梅まつり実施状況
6)案内　　・せたがや梅まつり
　　実行委員長齋田氏
　　ほか1名
　　・世田谷区
　　北沢総合支所
　　地域振興課係長
　　北はやと氏ほか3名



担当者の話（羽根木公園）①羽根木公園梅林の概要

- 50年前、55人の区議が「梅が丘を梅の名所にしよう」と、羽根木公園内の丘陵地に1人1本植樹したことがきっかけで梅林ができた。
- 梅が育ち人が集まるようになり、商店会が物販を開始したところ好評で、これが梅まつりのきっかけとなる。8回目から「梅まつり」として定着した。梅まつりは今年で40周年。
- 昨年の梅まつりは36万人の来場があり、るるぶの「行ってみたい梅林」でも1位を獲得した。



斜面地に植えられた梅（羽根木公園）

担当者の話（羽根木公園）②梅まつりの概要

- 梅まつり実行委員会は、町会、商店会、琴の先生（個人）、和菓子店などで構成。区役所が後援。
- 売店は実行委員会売店のほか、地元の菓子店や群馬県川場村物産展（世田谷区と縁組協定）が出店。
- 梅まつりの資金づくりとして協賛金をいただいており、舞台の広告枠もその一つ。

梅まつり看板

舞台

梅大福は特に好評で
1日に3500～4000個売れる

飲食コーナー

売店の様子（羽根木公園）

担当者の話（羽根木公園）③梅まつりの催し物

- 昭和52年につくられた茶室「星辰堂」では、梅まつり期間中、茶席や琴の演奏が行われる（無料）。
- まつり期間中、俳句の会の作品募集も行われており、会場内に応募箱が設けられている。

担当者の話（羽根木公園）④梅まつり40周年記念イベント

- 40周年を記念し、地域のこどもたちと「シンボルツリー」を製作した。この場所で、4月に40周年記念植樹が行われる予定。
- 夜にはライトアップが行われている。地元の東京農業大学の学生が協力している。

シンボルツリー

学生が作成したペットボトルライト

梅ヶ丘駅口（はらっぱ広場（草広場）前）

丘の上広場（舞台の前）

第15回梅まつり記念植樹の梅

視察の様子（羽根木公園）

園内の様子（羽根木公園）

記念撮影（羽根木公園）

2　実施報告

（2）神代植物公園

1)所在地　東京都調布市
深大寺
元町2･5丁目
北町1･2丁目
南町4･5丁目

2)総面積　486,596m2

3)梅の本数　約180本

4)梅まつり　2月7日（火）
～3月5日（日）

5)視察内容　梅の歴史と品種
について

6)案内　公益財団法人東京都公園協会
神代植物公園サービスセンター
園芸係長　川村 東文 氏

担当者の話（神代植物公園）①神代植物公園うめ園の概要と梅の歴史

- うめ園は、開園から55年が経過。
- 梅は江戸時代、交雑により400種ほどの品種が誕生した。都立植物園として、江戸にちなんだ品種を集めて展示している。
- 70品種ほどを展示しており、花梅が多い。実梅もあるが実は大きくならない。

- 中国では3000年前から梅の花を愛でたり薬として使用していた。日本へは弥生時代に渡来したとされる。
- 「右近の橘、左近の桜」の桜は、もとは梅だった。また、万葉集に出てくる花は桜より梅の方が多い。このように、かつては梅が身近な花であったが、平安時代頃から桜に移行していった。

担当者の話（神代植物公園）②梅の分類

- ウメはモモ、サクラと同様、植物学上「バラ科サクラ属」に分類される。一般的な見分け方は以下のとおり

	ウメ	モモ	サクラ
花弁	先が丸い	先が尖っている	欠きこみがある
葉と花の時期	花の後に葉が出る	花と葉が同時	両方ある
樹皮	ゴツゴツしている	のっぺりしている	よこしま模様

- 紅梅と白梅の区別は、花の色ではなく髄の色（枝を折った際の断面の色）で分ける。
- 梅は色や形など、ひとつひとつの花を楽しむのが良い。
⇒目の高さに花がくるように仕立て、維持することが重要である。

梅の品種の例（神代植物公園）

担当者の話（神代植物公園）③園内の様子

- 梅林内を散策できるよう、囲いは設けず草地としている。
- うめ園に人が多く訪れるのは春のみであり、踏圧による根への影響はあまりないと考えている。
- 夏は林床が熱くなるので、遮熱のため、芝生や草地にするとよい。

園内の様子

品種の解説

視察の様子（神代植物公園）

記念撮影（神代植物公園）

2　実施報告

（3）府中市郷土の森博物館

1)所在地　東京都府中市南町6-32
2)総面積　約140,000m2
3)梅の本数　約1,100本
4)梅まつり　2月4日（土）～3月12日（日）
5)視察内容　梅の専門家による解説
6)案内　東京農業大学 ｸﾞﾘｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰ講師 日本梅の会会長 大坪孝之 氏

専門家の話（府中市郷土の森博物館）①府中市郷土の森博物館の梅について

- 品種は白加賀が多く、古い梅は樹齢70～80年ほど。
- 近隣の生産緑地に植えられていた梅を引き取ったものが多い。
- 園内の樹木管理は、3社の植木屋により行われている。
- 剪定方針を定めており、小さく、目線の高さに花が付くようにしている。また、下草も残すようにしている。

専門家の話（府中市郷土の森博物館）②梅植栽地の管理について

- 小田原フラワーガーデンの梅の指導もしている。
- 小田原フラワーガーデンは全面芝生が特徴。夏は木陰のある憩いの場として利用できることを想定している。
- 芝生が育つ程度の日当たりを保つことが大事。
- 踏圧が根に悪いと思われがちだが、多少であれば問題ない。
- 草（芝）の管理には手間がかかるが、芝への肥料が梅を育てることにもなる。

参考写真（小田原フラワーガーデン）

専門家の話（府中市郷土の森博物館）③梅の植栽方法について

- 植栽間隔は、梅の仕立て方次第。梅は雰囲気を観賞するところもあるので植栽間隔が広すぎても面白くない。
- 梅の品種は、ある程度有名なものを集めるのも一つ。
  例；思いのまま
- 最近は桜でも早咲きのもの（河津桜など）が話題になることが多いので、それより早く咲くものを植えてはどうか。
  例；冬至、八重野梅、八重寒紅
- 枝垂れ梅は、見せる位置に置くと良い。
- 苗木、大木等を混ぜて植樹すると良い。

専門家による梅の管理の説明（府中市郷土の森博物館）

視察の様子（府中市郷土の森博物館）

梅林の工夫（府中市郷土の森博物館）

記念撮影（府中市郷土の森博物館）

深大寺そば「八起」

深大寺

昼食の様子

鬼太郎茶屋前にて

御幸公園梅香事業平成 28 年度梅林視察
アンケート意見のまとめ

基本目標		羽根木公園	神代植物公園	府中市郷土の森博物館	今後の取組案
（１）魅力の発信	梅まつり	①梅まつりは元々地域での盛り上がりがあって、後から区が参加している経緯がある。御幸公園でどのように進めて行くのかが課題。40 年の歴史があり来園者も多く、売店も充実していたが、実現には時間が必要だと思った。 ②商店会が商品を梅林に持ち寄ったことが梅まつりのきっかけになった。自発性を育む梅林のあり方を調べて参考にできると良い。 ③実行委員会は町内会が中心となって、区役所が協力している形。 ④商店会、町内会の協力のあり方。実行委員会の役割を検討する必要がある。 ⑤実行委員会、売店が充実していた。 ⑥地元商店街の協力が良かった。 ⑦商店会（代田、東松原、梅丘）、実行委員会等の売店が多い。 ⑧特産品があるとそれで人が集まる（梅大福など） ⑨ライトアップする際にペットボトルを使って光を和らげる方法が参考にできそう。 ⑩梅林のライトアップは取り入れたいが、先の取組となる。 ⑪ライトアップするとデートスポットにもなり、若い世代にも親しみやすくなる。 ⑫ペットボトルライトでのライトアップはぜひ行いたい。 ⑬梅まつりの予算が１５００万だったが、経費削減策があるのか知りたい。 ⑭俳句についてボックスを設けて添削を行う方法は参考になる。 ⑮姉妹都市（川場村）との連携で特産品を使用するのがいい。 ⑯区民の憩いの場として梅林が存在している。 ⑰梅が区民になじんでいる。			①梅まつりの運営体制 ・実行委員会制 ・町内会、商店会とのかかわり ②梅まつりの実施内容 ・梅大福などの特産品の販売 ・姉妹都市との連携 ・ペットボトルを活用したライトアップ ・俳句の募集

基本目標		羽根木公園	神代植物公園	府中市郷土の森博物館	今後の取組案
	ガイドツアー		①品種や紅白の見分け方など専門家による説明が良かった。 ②専門家による梅（歴史、品種等）の解説は人を呼べる。 ③御幸公園の梅林が立派になったらガイドツアーを真似したい。詳しい解説は面白かった。 ④ボランティアの育成を目指したい。 ⑤紅梅、白梅の見分け方や桜、桃との見分け方が勉強になった。 ⑥梅林解説、説明がすばらしい。 ⑦梅に関する豆知識を話してくれるガイドがいると楽しめる。		①専門家によるガイドツアー テーマ ・梅の歴史 ・梅の品種 ②ボランティアの活用 ③ボランティアの育成
（２）歴史・文化の継承		①茶室・星辰堂が区民の文化活動としての拠点となっている ②お茶や俳句は時期をみて開催できると思った。 ③俳句の会を取り入れたい。 ④茶道、箏曲など地域の活動家との連携が出来るとよい。		①御幸公園（現地）でのワークショップ形式の講座も企画したらどうか。	①地域の団体と協働した茶会や句会 ②御幸公園での講座・講演会
（３）梅林の復活	梅林の整備	①梅林が丘になっているので、下からの景観が素晴らしい。段差を設けることで真似出来たいい。 ②枝分かれしている園路や広いスペースなど立ち止まることを考慮した園路の整備方法は参考になる。 ③梅は長い期間観ることが出来るので、１２月から３月まで開花する様々な種類をそろえることも考えられる。	①多種類の梅を植樹することで楽しみが増える。 ②品種も多く、混植であった。 ③魅せることを意識した梅の品種の導入も出来ると良い。 ④花梅の見せ方として植樹や園路のあり方は参考になる。 ⑤梅園内の土壌改良により散策路が不要になる。 ⑥梅林が成熟していくには長い時間かかることがわかった。	①現在ある梅の木を復活させる為、手入れ方法、今回専門家の先生にお会い出来たので復活させたい ②御幸公園の梅林を将来にわたってそのような梅林にするのかをしっかりまとめてつくりあげていくことが大切だ。 ③植樹品種は早咲きの梅が多い方が、桜と競合しないで見に来てもらえる。梅まつりの時期とのバランスを考える必要がある。 ④苗木、大木等を混ぜて植樹すると良いとのアドバイスがあった。 ⑤開花の時期が近い梅の品種でそろえる ⑥しだれ梅が何本かあるとアクセントとなり良いと思う。 ⑦全体計画からすると品種はあまり多くないほうが良いと感じた。 ⑧梅は近くで見て楽しむものなので、芝生を整備できたらいい。 ⑨大坪先生の話でロープ柵がなくても問題ないとの話だったが、梅林が安定するまではロープ柵があったほうがいいと思う。	①品種の選定 ・開花時期 ・枝垂れ梅
（４）梅林の活用		①地域を巻き込んで食品販売が良かった。 ②菓子協会とのコラボが面白いと思う。 ③色々な実の活用方法があると感じた。売店が充実している。		①実の活用について聞きたかった。 ②開花期間外の梅林の機能を今後調べたい。 ③梅林の下草を芝にして立入自由にするのは避暑空間にもなるので参考になる	①菓子協会や地元菓子店など地域と連携した実の活用 ②梅の開花期間以外の梅林の活用

基本目標		羽根木公園	神代植物公園	府中市郷土の森博物館	今後の取組案
（５）梅林の保全	維持管理 保全対策	①梅だけでなく他の草木が一緒にある方がボリュームが出る。 ②梅の木１本１本に名前が表示されているのが良かった。 ③維持管理は委託でやっているとのことだったが、区民を交えて出来たらいいと思う。 ④梅の根の保護をするようになって生育が良くなってきたとのこと。 ⑤長期的な維持管理計画が必要。管理は請負（単年度）なので業者では難しい（方針を引き継げない）	①木の名板が参考になる。 ②梅の種類のいわれを表示する掲示板が良かった。 ③適当な時期に枝を切ることが必要 ④定期的な剪定が必要なため、直営 or 市民協働の仕組みを検討する。 ⑤目の高さで花が咲いているように剪定を行うと、周囲の土が程よい湿り気となる。 ⑥樹を高くしないほうが愛着がわく ⑦高く伸びないように剪定を行うことは参考になった。 ⑧梅の木が上に向かって成長するので、一定の高さで剪定が必要。 ⑨剪定の必要性を感じた。挿し木をもらえたらいい。 ⑩枝の剪定方法などの維持管理について参考となった。管理体制の検討が必要。	①梅林の保全について参考になる。 ②維持管理の面で参考となった。 ③農家の生産を意識し、樹木を大きくせず人の目線に花が付くようになっていた。 ④花を見るためには手入れが必要で、人手が多いほうが良い。 ⑤維持管理についても今から始められるので丁度いい時期に視察できた。 ⑥樹の周囲に人が入れるかどうか。 ⑦梅林内に人が入れる環境にしたほうが愛着が湧くと思う。 ⑧大坪先生にアドバイザーとして関わっていただけると良い。 ⑨下草（芝）が必要 ⑩梅の下を芝生にするのはよさそう。 ⑪下草や土の管理が大切なようなので専門家のアドバイスは重要であると思った。 ⑫梅の木は植木屋ではなく梅の専門家に剪定をしてもらう。 ⑬梅の管理への造園業者の活用（３社）	①専門家による維持管理へのアドバイス・指導 ②観梅を意識した維持管理 ③管理体制の構築 ④樹名板や解説板の設置 ⑤梅周辺の整備 ・下草（芝） ・低木 ・柵 ・散策路
（６）次世代への継承		①梅の記念樹が良かった。 ②シンボルツリーは真似したい。地域のこども達とのワークショップにあわせて記念植樹を行えたらいい。 ③地域のこども達と一緒に御幸公園のシンボルを作るなど行えそう。	①植物園として管理をされていて、学習の場として良い。 ②整備のため次の時代につなげるために人材育成も考えていきたい。		①地域のこども達と連携した取り組み ・シンボルツリー ②学習の場としての活用
（７）公園の利用促進		①梅林の散策路が工夫されている。 ②遊歩道と梅が分かれている。御幸公園にも遊歩道が必要だと思う。 ③子供用トイレがついていて小さい子ども訪れやすい。 ④梅まつり開催から４０年経過しているので、園路もしっかり整備されていると思った。 ⑤イベント時の大学の連携、協働は参考になると思う。	①散策路については、樹木の下まで入って花を見ることが出来るようになっており、楽しめると思ったが、梅の成長が安定するまでは難しいのではないか。 ②梅園内の土壌改良により散策路が不要になる ③梅を近くで見られる方が楽しめる。 ④御幸公園と植樹予定本数が近いので、間隔や散策路整備の参考になった。	①寒い時期なので暖のとれる休めるスペースは必要かと感じた。	①散策路 ②子供用のトイレ ③寒い時期に暖の取れるようなスペース
（８）その他		①町の中にある公園としては広さを感じた。		①大坪先生から管理についての話が参考になった。 ②梅の咲く時期についても興味深い話が聞けた。	

資料２

平成２９年度うめかおる写真展について

１　募集要項

（１）テ ー マ　「うめかおる風景」

（２）応募作品　梅に関する写真（梅の花、果実、梅林、梅まつりの風景など）

（３）応募資格　住所、年齢等問わない

（４）期　　間　平成２９年２月１日～３月１７日

（５）規　　定　①直近３年程度に撮影された、カラー又は白黒の写真

②サイズは２Ｌ判以上

③１人３点まで応募可能

２　募集結果と作品の確認

（１）応募者の居住区域　　総　数　２６人

（幸区内：１７人、区外：５人、市外：２人、県外：２人）

（２）応募作品の撮影場所　総　数　７０点

幸区内：１９点（御幸公園、夢見ヶ崎動物公園、ラゾーナ川崎裏、戸手小学校など）

区　外：１０点（生田緑地、登戸柏屋、渋川沿い）

市　外：２７点（大倉山公園、三溪園、湯河原梅林、瑞泉寺）

県　外：１４点（神代植物公園、府中市郷土の森博物館、池上梅園、新宿御苑など）

（３）作品の確認　別紙参照

３　写真展の開催

（１）期間　①幸区役所ロビーハナミズキ　　平成２９年４月１７日～４月２８日

②日吉合同庁舎タウンホールやまぶき　　平成２９年５月　８日～５月１９日

③幸区ホームページ公開　　平成２９年４月１７日～

４　来年に向けた検討項目

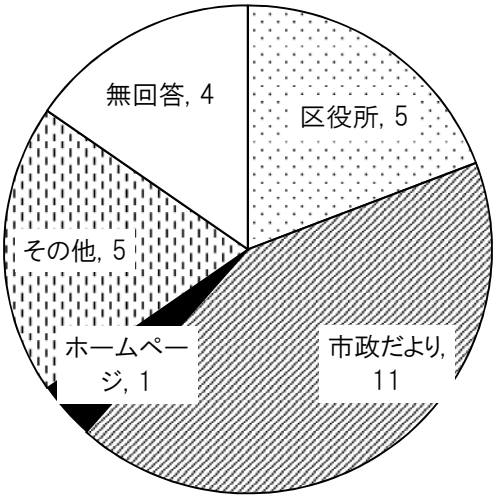
・応募点数

・作品の大きさ

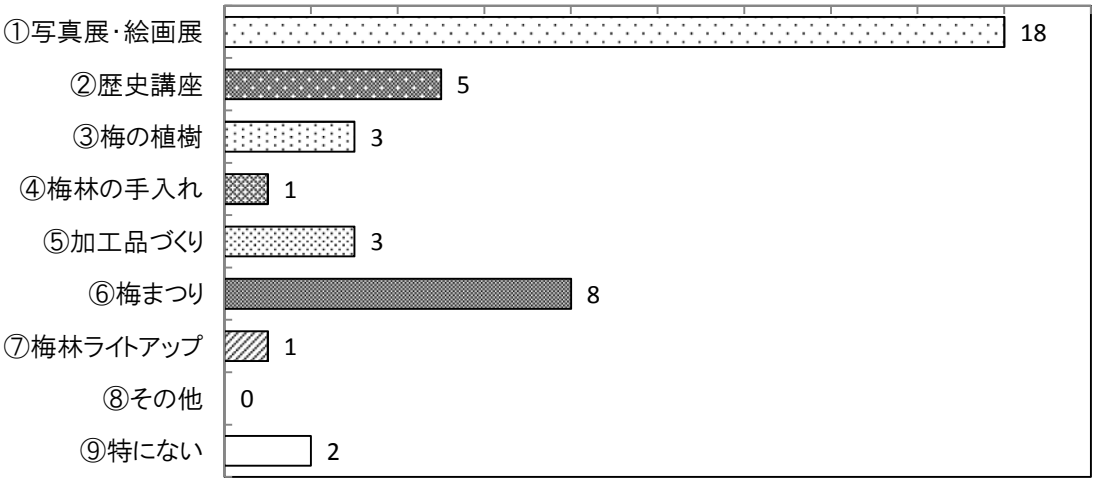
・賞の有無

５　アンケート集計

（１）写真展についてどこで知りましたか。



（２）梅香事業で参加したい取組はありますか。（複数回答可）



平成２９年度うめかおる写真展　応募作品一覧（全 70 作品）★は幸区内で撮影されたもの

★1-1

★1-2

★1-3

★2-1

★2-2

★2-3

3-1

3-2

4-1

4-2

4-3

★5-1

★5-2

5-3

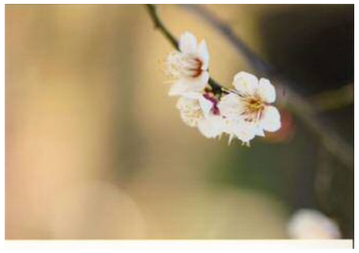
6-1

6-2

6-3

7-1

7-2



7-3

8-1

9-1

9-2

9-3

★10-1

10-2

10-3

11-1

11-2

★12-1

12-2

12-3

13-1

13-2

13-3

14-1

14-2

15-1

15-2

15-3

★16-1

★16-2

16-3

★17-1

★17-2

★ 17-3

★18-1

★18-2

★19-1

19-2

19-3

20-1

20-2

20-3

21-1

21-2

21-3

22-1

22-2

23-1

23-2

24-1

24-2

24-3

25-1

25-2

25-3

★26-1

26-2

26-3

資料３

平成２９年３月２２日
御幸公園梅香事業推進会議

うめかおる寄附・募金について

１　うめかおる寄附

（１）受付開始

平成２９年４月３日（月）～

（２）記念プレートの設置

対象：寄附金品等の金額又は価格が５０，０００円以上の方

（３）感謝状贈呈

対象：寄附金品等の金額又は価格が１００，０００円以上の方

２　うめかおる募金

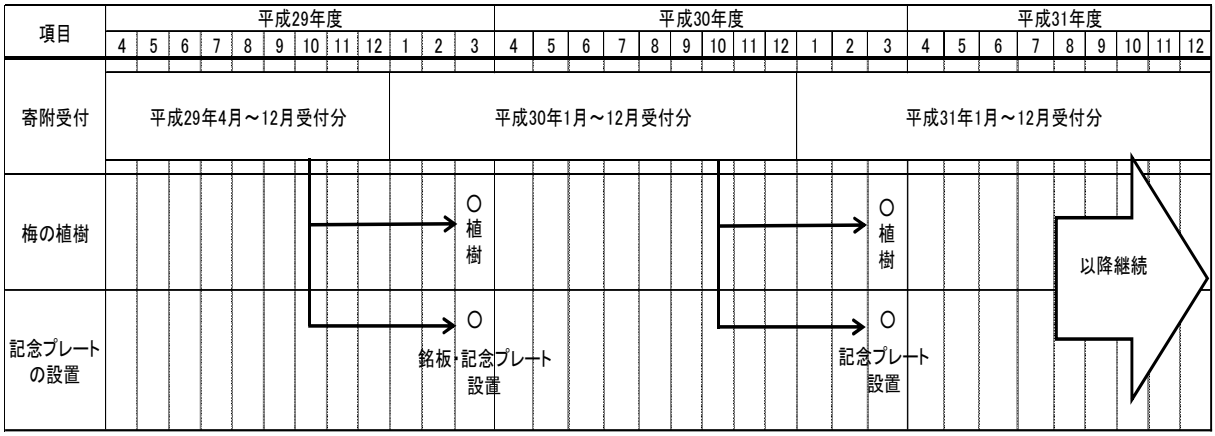
募金箱設置場所：幸区役所、道路公園センター、日吉出張所
幸市民館、幸スポーツセンター

３　寄附等受付、植樹、記念プレート設置

（１）平成２９年４月～１２月分寄附　→　平成３０年３月の植樹に反映
平成３０年３月に銘板・プレート設置

（２）平成３０年１月～１２月分寄附　→　平成３１年３月の植樹に反映
平成３１年３月にプレート設置

※　以降継続



資料４

平成29年3月22日

平成29年度御幸公園梅香事業スケジュール（案）

事業名	No	内容（案）	具体例	平成29年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
(1)地域との協働事業				事業内容の検討									実施手法の検討			
(2)学校との連携事業	1	絵画コンクールや写真展など		西御幸小学校と調整中						○ 区民祭で展示						平成28年度に幸区小・中学校長会にて説明・協力要請
	2	市立総合科学高校との連携による魅力発信	デザインポスター、モニュメント	具体的な内容を協議中												平成29年3/2にデザイン科教諭に依頼済み 学園祭との連携等を検討
	3	収穫祭への参加		平成30年度に検討（平成31年度のハーフイベントに合わせて実施）												
	4	学校への梅植樹促進		平成29年度も継続実施												平成28年度は2校（西御幸小、幸高校）で実施
	5	学校における梅の学習		平成30年度実施に向けて小中学校と協議（学校のカリキュラムにあわせて、検討）												
(3)梅林の保全	6	梅の品種の検討		検討結果（計画）に基づいて植樹										工事（市施工） 梅の植樹（10本）・施工		平成28年度に整備方針検討済み
	7	植栽範囲、配置の検討	土壌改良を含む													
	8	地域による維持管理	維持管理手法、体制の検討	専門家へ依頼	○ 具体的な維持管理手法の検討（第10回会議）				○ 維持管理に向けた組織づくりの検討（第11、12回会議）		○					
(4)梅林の活用	9	梅の実の加工	お菓子、ジャム、梅干等	※ アイデアがあればその都度、会議内で議論する（地域の協力店等への打診等）							○ 試食会（第12回会議）					
	10	梅加工品の販売	販売手法の検討													
(5)御幸地区の歴史・文化	11	地名講座	「御幸」という地名（地名研究所）	詳細検討（事務局）	○ 平成29年度実施内容の決定（第10回会議）						○ 11～12月（予定） 梅香事業講座・講演会開催					平成28年度は、2回（11/8、12/6）実施
	12	歴史講座	「小向梅林」													
(6)イベント等の企画及び実施	13	梅まつりの開催	ハーフ,区制50周年,市制100周年		○ ハーフイベントに向けた運営体制の検討（第10～13回会議）				○		○				○	平成29年度中に実行委員会を設置
	14	伝統文化・芸能などの実演	野点、句会、囃子等		○ ハーフイベントに向けた実施内容の検討（第10～13回会議）				○		○				○	
	15	写真展							○ 企画（第11回会議）				広報等	写真募集期間（2/1～3/16予定）	○ 展示作品決定（第13回会議）	※展示は平成30年4月（予定）
	16	区民祭での情報発信、啓発			○ 内容の検討（第10回会議）					○ 区民祭で発表						
(7)梅の植樹に係る寄附	17	梅の植樹のための寄附		○ うめかおる寄附・募金　受付開始（4/3）									梅の植樹（20本程度）		○ 銘板（プレート）の設置	
(8)その他	18	他の梅林の視察							○ 視察の検討		○ 視察場所の決定			○ 平成29年度梅林視察の実施		
	19	梅林の名称		平成32年度以降に検討												
推進会議	－	年4回程度			○ 第10回会議 5月中～下旬				○ 第11回会議 8月中～下旬		○ 第12回会議 11月上旬				○ 第13回会議 3月下旬	

参考資料3

「御幸公園梅香事業」推進会議　名簿

委員

	所属団体等	氏名	役職
1	幸区町内会連合会	鏑木　茂哉	会長
2	古市場町内会	金井　弘年	町内会長
3	小向仲野町新生会	佐野　昇	町内会長
4	幸区老人クラブ連合会	坂口　功	副会長
5	幸区子ども会連合会	神谷　厚子	副会長
6	幸観光協会		
7	幸区スポーツ活動連合振興会	君和田　孝	会長
8	株式会社東芝　小向事業所	永田　健二	総務部総務担当グループ長
9	市立小学校	高木　充	西御幸小学校校長
10	教育委員会文化財課	服部　隆博	課長
11	幸区役所	上野　葉子	区長
12		吉濵　匡孝	道路公園センター所長

事務局

	所属	氏名	役職
1	幸区役所道路公園センター	箕輪　秀生	整備課協働推進担当課長
2		笠原　康顕	管理課庶務係長
3		藤間　昭博	管理課庶務係主任
4		長谷川　祐馬	管理課職員
5		田中　昭子	整備課公園整備係長
6		安達　大輝	整備課職員
7		山下　麻美	整備課職員

参考資料4

平成29年3月22日

平成28年度御幸公園梅香事業スケジュール

事業名	No	内容(案)	具体例	平成28年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(1)地域との協働事業				事業内容の検討									実施手法の検討			
(2)学校との連携事業	1	絵画コンクールや写真展など		学校等と調整、実施		○小学校校長会説明協力依頼 ○中学校校長会説明協力依頼										
	2	市立総合科学高校との連携による魅力発信	デザインポスター、モニュメント	学校等と調整、実施		○事業説明協力依頼			※ 実施内容、実施時期は学校のカリキュラム等と調整して決定							
	3	収穫祭への参加		ハーフイベントを目指して平成30年度に検討												
	4	学校への梅植樹促進		平成30年度からの植樹に向けて検討									西御幸小学校、幸高校で植樹			
	5	学校における梅の学習		学校のカリキュラムにあわせて、検討												
(3)梅林の保全	6	梅の品種の検討							○梅の品種の検討、決定 (第6回会議)		○100万本植樹祭 梅の植樹(5本、苗木100本)			工事(市施工) 梅の植樹(15本)		梅の植樹20本 苗木100本
	7	植栽範囲、配置の検討			○ 植栽範囲、配置等の検討 (第5回会議)											
	8	地域による維持管理	維持管理手法、体制の検討		○ 維持管理内容の洗い出し(第5回会議)						○具体的な管理手法等の検討					
(4)梅林の活用	9	梅の実の加工	お菓子、ジャム、梅干等	※ アイデアがあればその都度、会議内で議論する (地域の協力店等への打診等)							○試食会(第7回会議)					
	10	梅加工品の販売	販売手法の検討													
(5)御幸地区の歴史・文化	11	地名講座	「御幸」という地名(地名研究所)	詳細検討 (文化財課、事務局)	○ 平成28年度実施内容の決定 (第5回会議)						◎ 11/8PM 第1回 講演会開催	◎ 12/6PM 第2回 講演会開催				謝礼、会場代等
	12	歴史講座	「小向梅林」													
(6)イベント等の企画及び実施	13	梅まつりの開催	ハーフ,区制50周年,市制100周年	ハーフイベントにあわせて、平成29年度から検討												
	14	伝統文化・芸能などの実演	野点、句会、囃子等	ハーフイベントにあわせて、平成29年度から検討												
	15	写真展							○ 企画(第6回会議)				広報等	写真募集期間 (2/1～3/17)	○ 展示作品決定 (第9回会議)	※展示はH29/4/17～
(7)梅の植樹に係る寄附	16	梅の植樹のための寄附			○ 手法の提案(第5回会議)						○ スケジュールについて					
(8)その他	17	他の梅林の視察							○ 視察場所の検討		○ 視察場所の決定			○ 平成28年度 梅林視察の実施 (第8回会議)		
	18	梅林の名称		平成30年度以降に検討												
御幸公園梅香事業推進計画	-	推進計画の策定		資料の収集 関係機関との調整	○ 第5回会議 5月25日				○ 委員への 素案の提示 (第6回会議)	○ 9月末 計画に対する 意見の提出	○ 案の提示 (第7回会議)			☆ 計画の策定		
		計画に関する市民意見の聴取			○ 推進会議				○ 推進会議 区民アンケート8/23～9/5	○ 推進会議	○ 推進会議	◎ 歴史講演会				区民アンケート (有効回答数:945件)
推進会議	-	年4回程度			○ 第5回会議 5月25日				○ 第6回会議 8月25日		○ 第7回会議 11月16日			○ (第8回会議)	○ 第9回会議 3月22日	

参考資料5

平成29年3月22日

御幸公園梅香事業計画期間の主な取組(案) H27～H37

事業名	No	内容(案)	具体例	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	備考
(1)地域との協働事業				事業内容の検討			実施手法の検討	ハーフイベント		区制50周年イベント			市制100周年イベント		
(2)学校との連携事業	1	絵画コンクールや写真展など			○幸区小学校校長会説明・協力依頼 ○幸区中学校校長会説明・協力依頼	学校等との調整 実施									
	2	市立総合科学高校との連携による魅力発信	デザインポスター、モニュメント		○事業説明・協力依頼	○ 実施									
	3	収穫祭への参加					検討	実施							
	4	学校への梅植樹促進			校庭の梅の植樹 (西御幸小学校、幸高校)	学校等と調整、継続実施									
	5	学校における梅の学習				学校等と調整	学校等と調整	実施							
(3)梅林の保全	6	梅の品種の検討		梅の種類、植栽範囲、配置等の検討											
	7	植栽範囲、配置の検討		梅の植樹(市施工)	○ 100万本植樹祭 梅の植樹(市施工)	梅の植樹(市施工)									
	8	地域による維持管理	維持管理手法、体制の検討		維持管理の検討(体制等)		実施								
(4)梅林の活用	9	梅の実の加工	お菓子、ジャム、梅干等		○試食会	○試食会	検討 ○試食会		実施						
	10	梅加工品の販売	販売手法の検討					検討			実施				
(5)御幸地区の歴史・文化	11	地名講座	「御幸」という地名(地名研究所)	検討	○ ○ 11/8,12/6実施	内容検討、実施	内容検討、実施								
	12	歴史講座	「小向梅林」												
(6)イベント等の企画及び実施	13	梅まつりの開催	ハーフ,区制50周年,市制100周年			企画	企画	○ ハーフイベント		○ 区制50周年イベント		○ 市制100周年イベント			
	14	伝統文化・芸能などの実演	野点、句会、囃子等												
	15	写真展			企画 広報 募集	展示	展示								
	16	区民祭での情報発信、啓発													
(7)梅の植樹に係る寄附	17	梅の植樹のための寄附			うめかおる寄附・募金手法検討・しくみづくり ○ 広報	うめかおる寄附・募金受付開始									
(8)その他	18	他の梅林の視察		○ 第3回	○ 第8回	○ 視察	○ 視察								
	19	梅林の名称							名称の検討						
推進会議				○ 第1～4回	○ ○ ○ ○ ○ 第5回 第6回 第7回 第9回	○ ○ ○ ○ 第10回 第11回 第12回 第13回	年4回程度実施								

H29/2月
梅香事業推進計画策定

参考資料6

会　議　摘　録

会議名称	御幸公園梅香（うめかおる）事業第７回推進会議
日　時	平成２８年１１月１６日（水）　１５：３０～１７：００
会　場	幸区役所４階区長室
出席者	【委員】 上野区長（委員長）、道路公園センター　吉濵所長（副委員長）、鏑木委員、金井委員、佐野委員、佐藤委員、深瀬委員、高木委員、君和田委員、永田委員、服部委員 【関係者】 総務課　吉原担当係長、原田職員 【事務局】 道路公園センター　管理課　笠原係長、藤間主任、長谷川職員 整備課　箕輪担当課長、田中係長、山下職員、安達職員
欠席者	神谷委員
傍聴者	２人
配布資料	議事次第 資料１　平成 28 年度御幸公園梅香事業梅林視察について 資料２　平成 29 年度うめかおる写真展（案）について 資料３　うめかおる寄附・募金について（案） 資料４　御幸公園梅香事業推進計画（案） 参考資料１　御幸公園梅香事業実施要綱 参考資料２　御幸公園梅香事業推進会議設置要綱 参考資料３　「御幸公園梅香事業」推進会議 名簿 参考資料４　平成 28 年度御幸公園梅香事業スケジュール 参考資料５　計画期間の主な取組（案）H27～H36 参考資料６　御幸公園梅香事業 第６回推進会議摘録
議　題	（１）平成 28 年度御幸公園梅香事業梅林視察について （２）平成 29 年度うめかおる写真展（案）について （３）うめかおる寄附・募金について（案） （４）御幸公園梅香事業推進計画（案）について （５）今後のスケジュール
決定事項	◎平成 28 年度梅林視察の日程は、「平成 29 年 2 月 22 日（水）」とする。 ◎第 9 回推進会議の日程は、「平成 29 年 3 月 22 日（木）15：30～」とする。 ◎平成 29 年度写真展の名称は、「平成 29 年度うめかおる写真展」とする。

会議の内容 **及び** **主な発言**	1　開会 ○委員長挨拶 御幸公園梅香事業が、より前進し、より素晴らしいものになるようご意見をいただきたい。 2　議題 （1）平成 28 年度御幸公園梅香事業梅林視察について 事務局から、資料１の説明を行った。 →平成 28 年度御幸公園梅香事業梅林視察は、平成 29 年 2 月 22 日に実施する。 （2）平成 29 年度うめかおる写真展（案）について 事務局から、資料２の説明を行った。 ○応募作品から展示作品を選定する主旨は､公序良俗に反する写真などを排除するためであり、作品に優劣を付けるものではない。 ○応募者の居住地などに関する制限は設けないのか。設けないのであれば、その旨を記載すると良い。 →制限は設けない。そのことを募集要項に記載する。 ○制限に関しては、国の内外も問わないか。 →問わないものとする。写真展が広く周知され、たくさんの応募があると良い。 ○応募作品の著作権を主催者に帰属すると、応募者が出版などする際に困らないか。 →他区での事例を再確認し検討する。 ○被写体について指定はあるか。 →梅に関する写真全般とし、指定はしない。まずは実施して課題を顕在化していきたい。 →平成 29 年度写真展の名称は、「平成 29 年度うめかおる写真展」に決定。 （3）うめかおる寄附・募金について（案） 事務局から、資料３の説明を行った。 ○樹木そのものを寄附する場合はどのように対応するのか。 →道路公園センターへ申し出てもらい、樹種や規格などを協議して決める。

	○寄附・募金がどの整備費に充当されるか。 →梅の木の購入に対して、寄附・募金を充てるものと考えている。土壌改良費などは区の予算で実施できるよう計画する。 ○整備するにあたり何に、いくら必要か。そのための行政の予算で行うもの、また寄附・募金で賄うものなどの内訳を明確にして欲しい。 →例えば梅の木 100 本にいくらかかるなど、全体計画のどの部分に寄附・募金を充当するのか分かる資料を要項に入れる。 ○梅の木はいくらするのか。 →樹高 2.5m程度で、約 5.0 万円。 ○その木を植えるためにはいくらかかるのか。 →20 万円から 25 万円程度。 ○平成 29 年度は、寄附・募金の目標額を 50 万円としているが、植樹祭に参加した方から既に申し出があり、多数の寄附が見込まれる。場合によっては、初年度の目標額を 100 万円、翌年度以降を 50 万円にするなど場合によっては目標額を変更することもある。また、目標額を超えた場合でも梅香事業で使用できるように調整する。 （4）御幸公園梅香事業推進計画（案）について 事務局から、資料４について変更箇所を抜粋し説明を行った。 委員長から、ページを追って一通りの説明を行った。 ○土壌改良は梅の木を植える時に完了していないといけないが、どのような手法で行うのか。 →全体で 5,000 万円と試算しているが、数年に分けて行う。 ○180 本相当の植栽する計画となっている。土壌改良だけ別にしなくても、1 本の植栽と同時に土壌改良を行えば、結果的にすべて行うことになる。 →根が伸びるので、根鉢の周辺も土壌改良を行う予定で費用がかかる。一度にはできないため、市全体の財政との兼ね合いも考えて進める。 ○25 ページの「おこと」とは、どういう意味か。 →「行うこと」の誤字なので修正する。 ○玉川小学校の校歌に、梅林のことは謳われているか。 ○御幸小学校の校歌に、梅が出てくるので関係性を紹介できるといい。 （5）今後のスケジュール ○第 8 回御幸公園梅香事業推進会議は、平成 28 年度梅林視察とし、平成 29 年 2 月 22 日（水）に開催する。

	○第 9 回御幸公園梅香事業推進会議は、平成 29 年 3 月 22 日（木）に開催する。 3　その他 （1）「武蔵国橘樹郡河崎小向梅林」について 事務局から、「武蔵国橘樹郡河崎小向梅林」を配布。 76 から 77 ページにかけて、梅香事業が紹介されている。 ○御幸公園梅香事業推進計画でも、コラム的にこの冊子を取り上げると良い。 （2）試食会～幸区で販売している梅のお菓子を試食～ 2 種類の和菓子を試食。 商店名：吉田屋（小向町）　商品名：みゆきの梅（170 円/個） 商店名：新岩城菓子舗（南幸町）　商品名：かおり梅　（150 円/個） ○区内で他に梅の商品はあるか。 →現在、和菓子以外に確認できていない。 （3）その他 ○「御幸地区の歴史・文化講演会」の様子はどのようであったか。 →約 70 名の参加があった。 平成 28 年 12 月 6 日（火）に開催する第 2 回も、同様の応募状況である。 ○校長会で学校にある梅の木の数を調べられないか。 ○校章に梅が入っているのは、小学校で 5 校、中学校で 1 校。校歌に梅が謳われているのは、小学校で 4 校、中学校で 1 校。 ○「未来へ向けた取組」の一環として、御幸公園梅香事業推進計画に梅をモチーフにした校章や各学校に植えられている梅の木の数などを掲載すると良い。 ○東芝さんでは、桜の木が印象的ですが、未来科学館を含めて梅の情報があれば教えて欲しい。 ○個人宅でも梅の木を植えることを推奨したい。 ○幸区の「区の木」はハナミズキ、「区の花」はヤマブキである。これは、区政 40 周年を記念し決めたものである。区政 50 周年では、ウメを加えるアイデアなども御幸公園梅香事業推進計画に掲載すると良い。 以上